

Japanese Utility Model Application Laid Open  
JU62-77953

1 [Title of Utility Model]

Portable Facsimile Transmission Device

2. [Claim of utility Model Registration]

1. A portable facsimile device comprising:

a first unit accommodating a reading device to read image information by scanning a transmission original, and a second unit accommodating transmission device to transmit the read information by said reading device through telephone network;

Wherein the first unit and second unit are composed detachable each other.

2. The portable facsimile transmission device in claim 1:

wherein a gap separated by a surface of the first unit and surface of second unit is for sending a paper.

[Summary of the utility model]

As for realizing the object, the present utility model composes a following portable facsimile device, that is comprised of a first and second unit which can be separated each other. The first unit accommodates a reading device to read image information by scanning a transmission original, and a second unit accommodates a transmission device to transmit the read information by said reading device through telephone network. According to the components, whole size of the device becomes small by separating the first unit and second unit for caring the device.

In figures

1 a first unit, 2 a second unit, 3 a gap for sending paper, 5 reading device, 6, 10 paper sending roller, 11 gear system, 12 DC motor, 13 acoustic coupler.

Best Available Copy

# 公開実用 昭和62- 77953

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報(U)

昭62-77953

⑰ Int. Cl.<sup>4</sup>

H 04 N 1/00  
1/04

識別記号

庁内整理番号

D-7334-5C  
Z-8220-5C

⑱ 公開 昭和62年(1987)5月19日

審査請求 未請求 (全 頁)

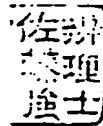
㉔ 考案の名称 携帯用ファクシミリ送信装置

㉕ 実 願 昭60-168322

㉖ 出 願 昭60(1985)10月31日

㉗ 考 案 者	谷 田 敏 彦	茨木市太田東芝町1番6号	株式会社東芝大阪工場内
㉘ 考 案 者	深 見 真 一	茨木市太田東芝町1番6号	株式会社東芝大阪工場内
㉙ 考 案 者	安 藤 利 明	茨木市太田東芝町1番6号	株式会社東芝家電機器技術研 究所内
㉚ 出 願 人	株 式 会 社 東 芝	川崎市幸区堀川町72番地	
㉛ 代 理 人	弁 理 士 佐 藤 強		

4



## 明 細 書

1 考案の名称 携帯用ファクシミリ送信装置

2 実用新案登録請求の範囲

1. 送信原稿を走査してその画像情報を読み取る  
読み取り装置を収納して成る第1のユニットと、前  
記送信装置による読み取り情報を電話網を介して送  
信するための送信装置を収納して成る第2のユニ  
ットとを設け、前記第1及び第2のユニットを分  
離可能に構成したことを特徴とする携帯用ファク  
シミリ送信装置。 5 10

2. 第1及び第2のユニット間の分離面に送信  
原稿の紙送り空隙が設けられていることを特徴と  
する実用新案登録請求の範囲第1項に記載の携帯  
用ファクシミリ送信装置。 15

3 考案の詳細な説明

〔考案の技術分野〕

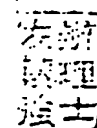
本考案は、紙面等に記録された情報を電話網を  
介して送信するための携帯用ファクシミリ送信装  
置に関する。 20

〔考案の技術的背景とその問題点〕

ファクシミリ装置はオフィス等における文書伝送の主要な手段として広く普及しているが、近年においてはニーズの多様化に伴い、ファクシミリ装置の送信部分のみをポータブル化して携帯できるようにした携帯用ファクシミリ送信装置が考えられている。しかしながら、ファクシミリ装置の送信部分を単に小形化して携帯可能な構成としただけでは、全体形状を十分に薄形化することができず、結果的に従来考えられている携帯用ファクシミリ送信装置は携帯にそれ程適したものとは言えないものであった。また、従来の携帯用ファクシミリ装置においては、送信可能な情報（送信原稿）が単票用紙等薄手のものに限られ、書籍等の厚手のものの画像情報を送信できないという不具合もあった。

〔考案の目的〕

本考案は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、全体の形状を薄形化することが可能になる等携帯時の形状に融通性を持たせることが



できて、携帯性を大幅に向上させ得る共に、送信原稿を手動にて走査することができて書籍等の厚手の原稿の画像情報をも容易に送信することが可能になる等の効果を奏する携帯用ファクシミリ送信装置を提供するにある。

5

#### 〔考案の概要〕

本考案は上記目的を達成するために、分離可能に構成した第1の及び第2のユニットを設けて、第1のユニットに送信原稿を走査してその画像情報を読取る読取り装置を収納すると共に、第2のユニットに前記送信装置による読取り情報を電話網を介して送信するための送信装置を収納する構成としたものであり、これによって携帯時には第1及び第2のユニットを分離して全体の形状を薄形化できるようにしたものである。

10

15

#### 〔考案の実施例〕

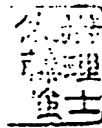
以下、本考案の一実施例について第1図乃至第3図を参照しながら説明する。

1は第1のユニット、2はこの第1のユニット1と分離可能に設けられた第2のユニットで、使

20

用時にはこの第2のユニット2上に前記第1のユニット1が載置状に設置されるものであり、斯かる使用状態において両ユニット1, 2は、第1のユニット1の両側に設けられた係合突起1a及び第2のユニットの両側に設けられた係合爪2a間の係合によってワンタッチにて連結されるようになっている。また、この連結状態において第1及び第2のユニット1及び2間には所定の紙送り空隙3が存するようになっている。尚、第2のユニット2の上面には複数個の位置決め用凸部2bが突設されていると共に、第1のユニット1の下面には各凸部2bが嵌り込む複数個の凹部（図示せず）が形成されており、以てこれら凸部2b及び凹部間の嵌め合いにより両ユニット1, 2の位置決めが容易に行なわれるようになっている。

上記第1のユニット1は、偏平な横長矩形状をなすケース4を有し、そのケース4内に第1図に示すような送信装置5及び一对の紙送り用ローラ6を収納して成り、特にこの場合紙送りローラ6は前記紙送り空隙3に望むように露出した状態に

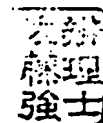


設けられている。上記読取り装置 5 は、ファクシ  
ミリ装置において周知構成の固体走査方式のもの  
であり、光走査面即ち送信原稿 7 が送られる前記  
紙送り空隙 3 に投光するための蛍光灯 5 a、送信  
原稿 7 の像を導光系 5 b を介して結像させるアモ  
ルファスシリコンより成る密着形 1 C イメージセ  
ンサ 5 c 及び紙送り速度に応じた読取り同期信号  
を発生するエンコーダ 5 d 等より成り、送信原稿  
7 を走査してその画像情報を読取るようになって  
いる。尚、ケース 4 の上面には操作ボタン 8 群が

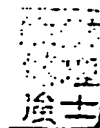
一方、前記第 2 のユニット 2 は、第 1 のユニッ  
ト 1 と同様に偏平な横長矩形状をなすケース 9 を  
有し、そのケース 9 内には、第 1 図に示すような  
一對の紙送り用ローラ 10、この紙送りローラ 1  
0 及び第 1 のユニット 1 側の紙送りローラ 6 を歯  
車機構 11 を介して駆動する DC モータ 12、前  
記読取り装置 5 による読取り情報を音響カブラ 1  
3 及び電話の受話器、電話網を介して送信するた  
めの送信装置（何れも図示せず）、並びに同じく

図示しない直流電源装置等が夫々収納されている。  
 この場合、上記紙送りローラ10は、前記紙送り  
 空隙3に臨むように露出されて第1及び第2のユ  
 ニット1及び2の連結時において第1のユニット  
 1側の紙送りローラ6と接触するように設けられ  
 ており、以て紙送り空隙3に挿入された送信原稿  
 7を前方側から後方側へ送るように構成されてい  
 る。尚、14は第1及び第2のユニット1及び2  
 間で電源及び信号の授受を行なうための可撓性あ  
 る連結コードである。

上記した本実施例によれば、装置全体を夫々比  
 較的扁平な形状の第1のユニット1及び第2のユ  
 ニット2に分離することができるから、携帯時  
 において第1及び第2のユニット1及び2を分離し  
 た状態で扁平なケース内に並べて収納する等、全  
 体の形状を薄形化させ得てその携帯時の形状に融  
 通性を持たせることができるものである。また、  
 第1のユニット1を手を持って送信原稿を走査す  
 るという所謂ハンドスキャンを行なうことができ  
 るから、書籍等の厚手の原稿の画像情報をも容易







に送信することができるものである。勿論、通常の薄手の送信原稿 7 を送信する場合には、第 1 及び第 2 のユニット 1 及び 2 を連結させた状態で送信操作を行なえば良い。

尚、上記実施例では、第 1 及び第 2 のユニット 1 及び 2 間の連結に係合突起 1 a 及び係合爪 2 a 間の係合により行なうようにしたが、これに限られるものではなく、例えば第 4 図に示す本考案の他の実施例のように、第 1 のユニット 1 側に固定した係合ピン 1 b 及び第 2 のユニット 2 側に回動可能に設けた係合アーム 2 c 間の係合により連結する構成としても良く、或は第 1 のユニット 1 の重量のみを利用して連結状態に保持する構成としても良い。

#### 〔考案の効果〕

本考案によれば以上の説明によって明らかなように、原稿に記録された情報を電話網を介して送信するための携帯用ファクシミリ送信装置において、全体の形状を薄形化することが可能になる等携帯時の形状に融通性を持たせることができ、

携帯性を大幅に向上させ得る共に、送信原稿を手動にて走査することができて書籍等の厚手の原稿の画像情報をも容易に送信することが可能になる等の実用的な効果を奏するものである。

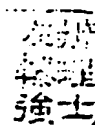
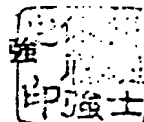
#### 4 図面の簡単な説明

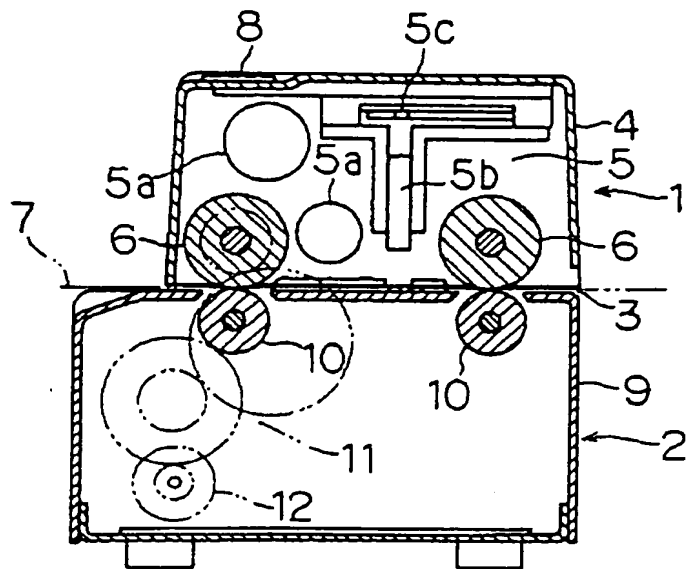
第1図乃至第3図は本考案の一実施例を示すもので、第1図は通常の使用状態での縦断面図、第2図は同状態での斜視図、第3図は分離状態での斜視図である。また、第4図は本考案の他の実施例を示す第2図相当図である。

図中、1は第1のユニット、2は第2のユニット、3は紙送り空隙、5は読取り装置、6、10は紙送りローラ、11は歯車機構、12はDCモータ、13は音響カブラを示す。

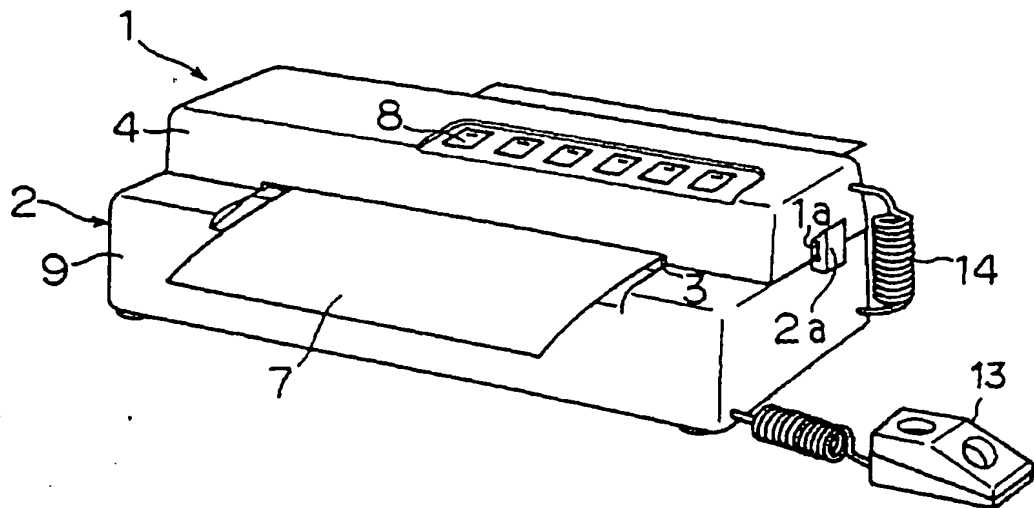
出願人 株式会社 東 芝

代理人 弁理士 佐 藤





第 1 図



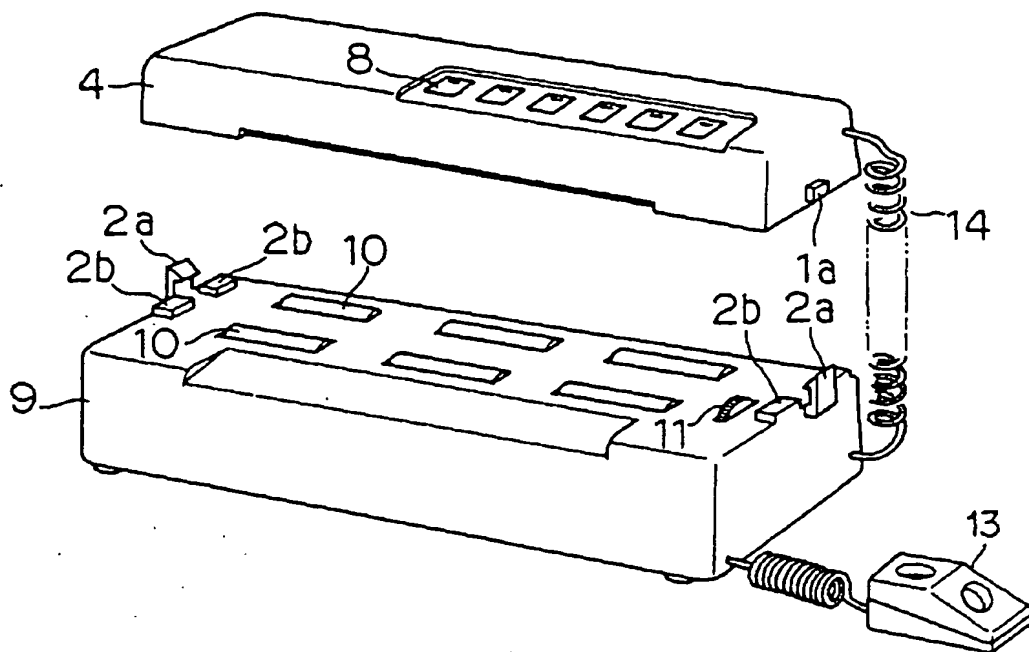
第 2 図

N85-1310 1/2

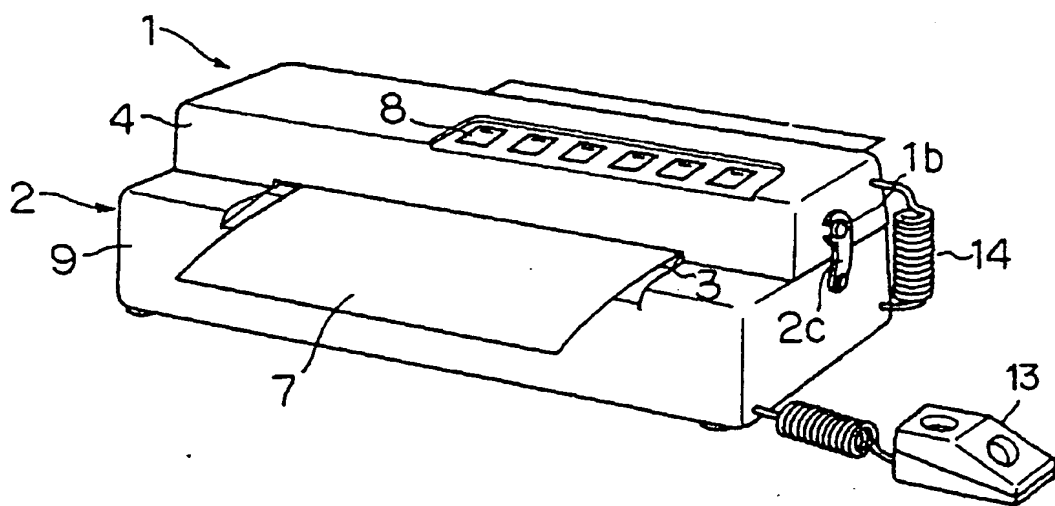
564

出願人 株式会社 東 芝  
代理人 株式会社 東 芝

実開 62-77953



第 3 図



第 4 図

N85-1310 2/2

565

出願人 株式会社 東  
代理人 佐藤 藤之  
実用新案登録第 565-17363 号  
印 565

手 続 補 正 書

昭和 60 年 12 月 25 日

通

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

実願昭 6 0 - 1 6 8 3 2 2 号

2. 考案の名称 携帯用ファクシミリ送信装置

3. 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

( 307 ) 株式会社 トッパ 東芝

4. 代理人

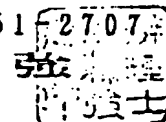
〒 4 6 0

住所 名古屋市中区栄四丁目 6 番 15 号

日産生命館

電話 < 052 > 251

氏名 弁理士 (7113) 佐藤

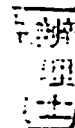


5. 補正命令の口付 自発的

式 査  
方 審



566



6. 補正の対象

明細書の実用新案登録請求の範囲の欄及び考案の詳細な説明の欄。

7. 補正の内容

(1) 実用新案登録請求の範囲を別紙の通り訂正する。 5

(2) 明細書第3頁第11行目に記載の「送信装置」を「読取り装置」と訂正する。

10

15

20

567

## 2 実用新案登録請求の範囲

1. 送信原稿を走査してその画像情報を読取る読取り装置を収納して成る第1のユニットと、前記読取り装置による読取り情報を電話網を介して送信するための送信装置を収納して成る第2のユニットとを設け、前記第1及び第2のユニットを分離可能に構成したことを特徴とする携帯用ファクシミリ送信装置。

2. 第1及び第2のユニット間の分離面に送信原稿の紙送り空隙が設けられていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の携帯用ファクシミリ送信装置。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**